

あんじょう 市議会だより

3月定例会



スーパー(桜井町)



J-R安城駅



J-R安城駅

さわやかマナーまちづくり条例 議員が啓発キャンペーン



スーパー(住吉町)



名鉄新安城駅



名鉄桜井駅

※11ページに関連記事があります。

3月定例会のあらまし

平成27年第1回安城市議会定例会を3月3日～23日に開催しました。提出された「平成27年度安城市一般会計予算」など51案件を原案どおり可決したほか、報告3件を受け、同意案3件に同意しました。また、提出された請願2件は、ともに採択しました。

4日の代表質問、6・9日の一般質問では、11人の議員が市政の各方面にわたり質問しました。

本会議の詳細な内容は、市公式ウェブサイトの「市議会のページ」または6月上旬から市役所市政情報コーナー・中央図書館に設置する「会議録」をご覧ください。

目次

- 2 主な議案
- 3 主な議案の審議、委員会の審査
- 5 議案などの審議結果
- 6 代表質問のあらまし
- 8 一般質問のあらまし
- 10 議員研修会を開催
全員協議会・委員会の主な活動状況
議会改革検討委員会から議長に答申
- 11 さわやかマナーまちづくり条例PR
活動、特別委員会の活動報告
- 12 6月定例会の開催予定ほか

主な議案

平成27年度当初予算を可決

当初予算規模は、一般会計では、前年度比2.2%増の631億3000万円となり、一般会計、各特別会計、水道事業会計を合わせた全体予算額は、前年度比3.7%増の102.9億7100万円となりました。

平成26年度3月補正予算14億6600万円余を減額

一般会計では、総額3億6200万円余を減額しました。人件費の減額や事業費の確定による不用額などの減額、国の緊急経済対策分の追加計上や基金への積立などの増額をしました。

一般会計

●総務費 6億200万円余増／公共施設保全整備基金積立金などの増額
●民生費 1億1500万円余減／臨時福祉給付金などの減額。社

会福祉施設整備基金積立金などの増額
●衛生費 1億9600万円余減／ごみ焼却施設運転等委託料などの減額。



水素ステーション

●商工費 1億3800万円余増／観光案内所・ビジネス交流施設運営等業務委託料、安城プレミアムお買物券発行事業補助金などの増額
●土木費 5億5700万円余減

●教育費 1億300万円余増／文化施設整備基金積立金、運動施設整備基金積立金などの増額
●議員・特別職などの報酬・給与の改定(第4・6・7号議案)

特別職報酬等審議会の答申に基づき、4月1日から市議会議員、市長、副市長の報酬・給料月額を次のとおり引き上げるものです。

●引き上げ額(月額)
議長1万7000円／副議長1万

主な議案の審議

3月11日の議案質疑のうち、平成27年度一般会計予算に関する質疑の一部を要約して掲載します。

生活困窮者自立支援事業

生活困窮家庭での貧困の連鎖を防止するための学習支援などを検討していることだが、その事業内容は、

教育の相談や学び直しの機会の提供、学習支援を計画している。具体的には、土曜日にサタデースクールとして午後から2部制で各12名程度、学びの場の機会の提供を考えている。シルバー人材センターに委託し、支援員は教員だった方を予定している。

企業立地推進事業

企業立地動向調査は、具体的な税制上の条件や用地の販売単価などを提示して行うのか。

今回行うアンケートでは、全国から約5000社を抽出し、交通体系など本市の地理的な条件、この地域の産業構造などの要因から立地意向があるかを調査する。具体的な条件面での提示は予定していない。

歴史博物館事業

平成27年度に指定管理者制度

5000円／議員1万4000円／市長1万円／副市長8000円／教育長7000円

監査委員の選任

3月3日に辞職した議会選出の監査委員・今井隆喜氏の後任に、深津忠男氏(東端町)を選任することに同意しました。任期は平成27年4月30日までです。

公平委員会委員の選任

5月10日に任期満了となる尾本雅光氏の後任に、深津茂樹氏(碧南市)を選任することに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任

5月10日に任期満了となる山口修氏(安城町)の後任に、引き続き同氏を選任することに同意しました。

請願の審査結果

●ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する意見書の提出を求める請願↓全会一致で採択
●軽度外傷性脳損傷に係る周知及

び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書の提出を求める請願↓全会一致で採択

議員提出議案による意見書を国へ提出

「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充等に関する意見書」
ウイルス性肝炎が原因の肝硬変・肝がん患者の治療に対する医療費助成制度を早期に創設すること、実態に応じた障害者認定制度にすることを国へ要望するものです。

「軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書」
軽度外傷性脳損傷について、国民や教育機関などに広く周知すること、医学的知見に基づき適切に労災認定に向けた取り組みを進めることを国へ要望するものです。

「年金積立金の適正運用の確保に関する意見書」
年金積立金の運用は、被保険者の利益のために長期的な観点から安全かつ効率的に行うこと、早急に年金積立金管理運用独立行政法人のガバナンス体制の強化を図ることを国へ要望するものです。

案を審査し、原案どおり可決しました。
●創畜省エネルギープロジェクト事業

「きく☆モビ」は将来的に事業化を目指すものか、あるいは社会貢献か。



きく☆モビステーション(JR安城駅南口)

低炭素な交通社会の構築、移動の利便性向上、地域の賑わい創出を目的に行っている。(株)デンソーと安城市などが共同提案した創畜省エネルギー施策に関する構想が国交省に採択されたことから始まった。事業化の可能性を検証するために実証実験を行っている。

環境意識啓発事業

平成27年度、安城市が幹事市となつてT.A.S.K.I(※)首長サミットを開催すると聞いているが、委託業務料93万円余の内容は。

中部環境先進5市により平成22年度から行われている。27年度は、7月7日に長野県根羽村で開催予定。委託料は、会場設営、備品調達、現地ガイドなどの費用。
※中部環境先進5市である多治見、安城、新城、掛川、飯田の頭文字をつなぎ合わせて命名。

経済福祉常任委員会

3月16日、審査を託された12議

委員会の審査

委員会における質疑のうち、平成27年度一般会計予算に関する質疑の一部を要約して掲載します。

総務企画常任委員会

3月17日、審査を託された13議案を審査し、原案どおり可決しました。

総合計画策定事業

地方創生総合戦略では、先行して策定する地方人口ビジョンにおいて人口目標値を設定するが、次期総合計画の計画目標年次の人口設定においても同じ目標値として位置付けるのか。

地方人口ビジョンで定められる「目指すべき将来の方向」は、次期総合計画においても基本的に共有されるものと認識している。したがって、総合計画における計画

3月定例会に提出された議案などの審議結果

◎安政会11人(※) ◎自民クラブ7人 ◎新政みどり4人 ◎公明党2人 ◎共産党2人 ◎新社会1人 ◎新自民の会1人

Table with columns for '3月定例会に提出された案件', '結果', and '会派別賛否(○賛成、×反対)'. Rows include various municipal regulations and budgets, such as '第1号 附属機関の設置に関する条例の一部改正' and '第1号 安城市議会委員会条例の一部改正'.

◎議案名と会派名は、一部省略して記載しています。(公明党⇒公明党安城市議団 共産党⇒日本共産党安城市議員団) ※3月3日に議員が1人辞職し、所属議員は11人となりました。

■重度障害者入院時意思疎通支援扶助費
問 具体的内容と対象人数は。
答 新年度から実施する事業。意思疎通が困難な重度障害者が入院する場合に、意思伝達に熟達した者を派遣し、医療従事者との意思疎通の円滑化を図り、障害者の入院生活をサポートする。重度訪問介護利用者4人と行動援護利用者14人が対象となる。

■子ども医療費助成事業
問 事業費が平成26年度比で約4000万円減額となった理由は。
答 高校生は入院のみ無料だが、減額分を通院に充てられないか。

■不法投棄対策事業
問 不法投棄パトロール等委託の詳細と過去の実績は。また、備品購入費98万円の内容は。
答 不法投棄などの監視と不法投棄物の回収、ゴミステーションの清掃、管理状況の報告、資源物の持ち去り監視をシルバー人材センターに委託している。原則、月・水・金に1日6時間実施している。

■自主防災組織運営等補助金
問 平成25年度の実績は、実施日数141日、不法投棄件数336件、ゴミステーションの清掃など896件、不法投棄とゴミステーションからの回収量17t弱、持ち去り行為の確認は0件。98万円は、監視カメラ2台の購入費。
答 平成26年度600万円から1100万円に増額している理由は。

■自主防災組織運営等補助金
問 平成26年度600万円から1100万円に増額している理由は。
答 自主防災組織運営費補助金、地域防災マップ作成事業補助金、自主防災組織資機材整備事業補助金があるが、自主防災組織から、もう少し高価な機材を購入したいという要望もあり、主に自主防災組織資機材整備事業補助金を充実するために500万円を増額する。

■衣浦東部広域消防非常備消防事務
問 新年度、新たに消防団員の新型活動服と防火ヘルメット、消防団車両のデジタル無線受令機を購入するが、その内容は。
答 冬の新型活動服を全分団員分40着、防火ヘルメットを各分団5個で150個、アナログ波の終了に伴い、団車搭載のアナログ無線受令機をデジタル無線受令機へ更新する。

■自主防災組織支援事業
問 新年度に街頭消火器を増設するが、その内容は。
答 街頭消火器は概ね10年ごとに更新しており、平成27年度に約30本を更新する。さらに街頭消火器を充実するため、約200本の街頭消火器を新規に設置する。

■住宅市街地総合整備事業
問 南明治第一土地区画整理地区内に建設するコミュニティ住宅の概要と入居対象者は。
答 花ノ木町に鉄筋コンクリート5階建て15戸を平成27、28年度に建設する。事業開始時以前から引き続きこの地区内に居住し、事業施行に伴い土地を市に売却する人や借地権を解消する人が入居の対象となる。

■公園補修事業
問 公園施設長寿命化実施設計委託料について、対象となる公園や施設・器具が決定していると思うが、長寿命化の方針や考え方は。
答 平成24、25年度に、公園施設長寿命化計画を策定した45公園の内、特に木製遊具を有する公園を優先的に選定し、遊具の更新設計を行う。

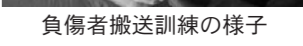
■建設常任委員会
3月12日、審査を託された9議案を審査し、原案どおり可決しました。

■市民文教常任委員会
3月13日、審査を託された7議案を審査し、原案どおり可決しました。

■南明治第一土地区画整理地区内のセンターゾーン共同建替事業
問 地権者が申出換地により末広町内の街区に土地を集約、組合を設立し、南側に住居棟、北側に商業棟を建設する。住居棟は15階建て82戸の分譲マンションで、平成28年11月下旬に完成予定。商業棟建設予定地内の建物は平成27、28年度に移転する計画。出店業種は未定。



センターゾーン共同住宅の完成予想図



負傷者搬送訓練の様子

代表質問のあらまし

所属議員3人以上の会派の代表

者3人が代表質問をしました。質問と答弁の一部を要約して、質問順に掲載します。
※会派名は、3月定例会当時のものです。



代表・一般質問の録画を視聴できます

代表・一般質問の録画映像をインターネットで配信しています(過去2年分)。「市議会のページ」の「議会映像ネット配信」から視聴できます。

代表・一般質問の様子は、質問終了後、おおむね2週間後からご覧いただけます。

市議会のページ⇒ [安城市議会](#)

<http://www.city.anjo.aichi.jp/shisei/gikai/index.html>



安政会
石川 忍

忍議員

市長の政治姿勢について

問 現在作成中の次期総合計画の中で、本市が目指すべき都市像は、**答** 市長選挙を通じて「健幸都市にかえる」と有権者へ訴えてきた。「健幸都市」は、市民の皆さんの「健やか・幸せ」を願う意味から、「幸」という字を当てている。

健幸都市に込めた想いは、本市にお住まいの全ての世代の皆さんが心身共に健康であることにより、生きがいを感じ安心して豊かな生活を送れる、そんな目指すまちづくりができれば幸せを実感できるという思いからであり、健幸都市が本市の輝かしい未来であると考えている。

総合計画で掲げる目指す都市像は、私が想い描く目指すまちづくりを基本構想と基本計画に反映し、取り組んでいく施策を「幸せを実感する」という横断的な視点で整理したうえで本市の案を固めている。

健幸都市について

問 市長が考える「健幸都市」をどのように実現していくのか。

答 現在、構想している主な取り組みは、①国保や健保組合などと連携し、健診データを集めて分析・研究し、保健事業や介護予防事業に活用するなどして健康寿命の延伸を図る。②サイクリングやウォーキングを快適に楽しめる環境を整備する。③市民が健康に関する知識・情報を容易に取得でき、実際の行動へとつなげること



ができる環境を整備する。④まちなかを歩くことが人と人との出会いにつながるような賑わいを創出する。⑤体育館や陸上競技場の改修のほか、さらなるスポーツ施設の充実を検討し、また、各種シルバースポーツの啓発など生涯スポーツを推進する。⑥趣味の農作業などの効用を啓発し、健康に結びつけて展開する事業を研究する。市民の皆さんが「健幸都市」を見て楽しみ、身をもって体感し、心から実感できるような、そんなまちづくりが実現できればと考えている。

◆このほかの質問：平成27年度当初予算、教育委員会制度、あんじょうプラン7、農業政策、道路行政、市民の安全安心について



自民クラブ
松浦満康議員

新城駅周辺のまちづくり

問 駅舎改修については、駅利用者の利便性向上のため、エレベーターの設置などが行われたが、自由通路は未整備のままである。今後の見通しは。

答 新城駅は、北部地域の玄関口として重要な拠点と認識している。今後は、多額の費用を負担することとなるが、重要な拠点としてふさわしい駅となるよう、市の要望事業の位置付けをしても全面改修を実現させたい。

水素ステーションの設置

問 安城市では、低炭素社会の構築を目指すとともに、地球温暖化対策にも積極的に対応しており、昨年12月にFCV(燃料電池自動車)の発売を見込み、補助金制度を見直した。本市もFCV(ミライ)を購入するが、将来、水素社会の到来が見込まれる中、本市の水素ステーション誘致に対する今後の具体的な取り組みは。

答 水素ステーションは、石油会社やガス会社、商社などが国の目標を受け整備を進めている。市と

しても関係企業に対して、個別に積極的な働きかけを行い、県とも連携を密にして市独自の支援施策を前面に出し、水素ステーション誘致に向けた動きを強化していく。



FCV(燃料電池自動車)

町内公民館建て替え資金

問 町内公民館の建て替えに要する建設費などに対し、本市では補助金交付要綱により一定の補助をしている。現状、資金繰りにはどの町内会も苦慮されているが、資産を有しない町内会は、融資を受けることが大変難しい状況にもある。現行の要綱を見直し、補助限度額の引き上げと、一定の条件のもと、無利子での貸付制度を検討してもいいか。

答 補助限度額は、現行の3000万円を3600万円に増額する。貸付制度の創設には、貸付条件など課題も多く、今後の公民館建設における町内会の状況を把握し、先進事例を参考に研究していく。

◆このほかの質問：防災・減災対策、学校教育、図書情報館についてなど(全10項目)



新政みどり
坂部隆志議員

リニアインパクトを見据えた地域づくりについて

問 新幹線駅開業から四半世紀が過ぎ、JR三河安城駅周辺は西三河約150万都市の広域玄関口としてふさわしい夢のあるまちづくりが必要だが、今後の課題と対応は。

答 駅から南西の約90haを市街化区域拡大の候補地としている。また、まちの魅力や仕事をもたらす核となる施設の誘致・導入が必要と考え、積極的に研究していく。

みらいを拓く人づくりについて

問 ものづくりのまちとして、文化センターの改修と併せ、科学館的なものづくりセンターを検討してほしいが、文化センターとプラネタリウムのリニューアルについてはどのような方針か。

答 文化センターの改修は平成28年度に実施設計、29年度に改修工事を予定し、プラネタリウムの更新も併せて行いたいと考えている。科学やものづくりの学習施設については、プラネタリウム更新の検討の中で一緒に考えていきたい。

東京オリンピックに向けたスポーツ文化の充実について

問 東京オリンピックでスポーツブームの高まりが想定され、市民の活力や心身の健康をつくるため継続的なスポーツ振興策が必要とされる。野球やサッカーの公式試合ができるグラウンド、市民の憩いの場となる広場や公園、さまざまなイベントが開催できるアリーナなど新たな総合運動公園を三河安城周辺の市街化区域拡大と併せ整備し、市長公約「健幸都市」のランドマーク、スマートウェルネスシティセンターとしてはどうか。



市体育館・野球場

答 急激な高齢化に伴い健康づくりとスポーツを融合した総合的な施策を検討する必要がある。市民からは体育館・グラウンドなど新たな施設要望もあるが、現在の総合運動公園ではこれ以上施設を増やすことは難しい。スマートウェルネスシティセンターの整備構想は「健幸都市」を推進する先進的で大変すばらしい構想だと思う。今後は実現の可能性を研究していく。

一般質問のあらまし

質問と答弁の一部を要約して、質問順に掲載します。 ※会派名は、3月定例会当時のものです。



安政会 二村 守議員

指定管理者制度について

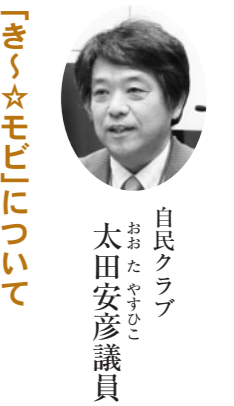
問 指定管理者選定委員の構成は、学識経験者や公認会計士をはじめとしたメンバーであるが、今後は「その道の専門家」と言われる方が審査に参加してはどうか。 答 先進自治体では、それぞれ施設に合った専門家を含めた選定委員会を各部署ごとに編成している委員構成のあり方と併せ検討していく。

安城市版暮らしの便利帳

問 西尾市では「西尾市暮らしの便利帳」を広告事業者が作成し、市民情報誌として発行した。その作成・宅配費用は、広告スポンサーの協力でまかなわれている。本市も「安城市版暮らしの便利帳」を経費をかけずに作成できないか。 答 情報量も豊富で見やすく大変良い情報誌である。今後、各市の状況を把握し、研究していく。



西尾市暮らしの便利帳



自民クラブ 太田安彦議員

「きく☆モビ」について

問 「きく☆モビ」は、実証実験の開始から3カ月がたつが、課題と新たに検討している取り組みは。 答 当初、利用時間の2時間前までに予約が必要だったが、空いていけばすぐに使えるよう直前予約にも可能な限り対応するように改めた。課題は、予約システムの操作性と利便性の向上である。また、車両の効率的な配置を行うためのオペレーションも見直しが必要と考えている。新たな取り組みとして、太陽光発電施設と蓄電池を備えた再生可能エネルギーによる充電可能な駐車ステーションの設置を検討している。

消防団について

問 消防団のなり手が少なく、経験豊富な団員OBの活用は、現役団員の負担軽減にもなると考える。機能別消防団創設の検討状況は。 答 本市の機能別消防団は、大規模災害時に特化した救助や消火活動を基本と考えている。現役団員の意見も聞きながら、平成28年度には機能別消防団を発足させたい。



新政みどり つじやまひでふみ 辻山秀文議員

新たな路面標示について

問 特に事故が多い交差点や、自転車、歩行者の飛び出しがある歩道にイメージハンブ設置を検討しては。 答 交差点のカラー舗装や通学路などの歩行者路側グリーン標示を優先して実施している。



イメージハンブ (他市)

認知症に起因する事故防止

問 高齢者ドライバーが起こす自動車事故は増え、なかでも認知症の人が問題になっている。認知症についての悩みや相談は、地域包括支援センターに寄せられるが、車の運転についてはどう対処しているのか。 答 医療機関への受診や運転免許センターでの検査を勧め、本人と家族が車に乗ることや、ドライブレコーダーを設置して自身の状況に気づいてもらう取り組みを助言している。



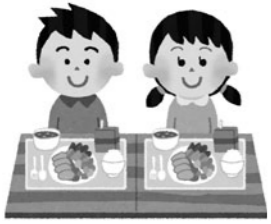
共産党安城市議員団 みやがわなほこ 宮川金彦議員

後期高齢者医療の特例廃止

問 安倍政権は、後期高齢者医療保険料の9割軽減などの特例を廃止するとしている。市内7196人が平均1万4280円負担が増える。高齢者に大変な負担増となるので特例は継続すべきではないか。 答 国の責任において、激変緩和策や所得の低い人に配慮した対策を講じるとともに、丁寧な説明や周知を行い、混乱のないように進めることが重要だと考えている。

公立幼稚園へエアコン設置を

問 私立幼稚園は9園のうち8園にエアコンが設置されている。ところが、公立幼稚園にはエアコンが設置されていない。「暑くなる」と園児の食欲が落ちる「など現場から切実な要望が出されている。早急に設置すべきではないか。 答 幼稚園の認定子ども園への移行に併せて検討していく。



共産党安城市議員団 ふかやけいこ 深谷恵子議員

非婚(未婚)ひとり親家庭にみなし寡婦(夫)控除の適用を

問 現在、結婚せずに子どもを育てている婚姻歴のないひとり家庭には、寡婦(夫)控除が適用されず、保育料、市営住宅使用料などの負担が軽減されない。八王子市は、可能な範囲で救済するのが自治体の責務として、みなし適用をし、全国にも拡がっている。市も勇気をもって実施すべきと考えるが。 答 保育料は、他市の導入状況に関し、国は平成27年度中に必要な措置を講ずる方針である。今後の動向を注視し、研究していく。

介護保険事業について

問 厚労省は、4月から介護報酬の引き下げを決定した。市内の特別養護老人ホームが赤字に転落する危険性はないか。 答 事業所収支の悪化を懸念する声があるが、報酬加算を受けられるように事業者にも協力してほしい。



新社会 いしかわ つげす 石川 翼議員

名鉄新城駅および周辺の整備

問 駅西側の「開かずの踏切」は利用者が多く、不便を強いている。踏切を起点とした交通渋滞は、歩行者の安全面からも問題があるが、整備をどのように進める考えか。 答 尾崎高架橋や柿田公園線南進道路のアンダーパス開通により、新城駅周辺への渋滞は緩和された。今後、駅の自由通路を含む全面的整備により歩行者の安全を図る。



新城駅西側の踏切

過労死防止法に基づく市の施策

問 相談機会の確保のため、土日祝日にも労働相談を実施できないか。 答 市では、毎月第2木曜の午後に予約制で労働相談を行っているが、拡充の予定はない。県が土曜日に労働相談を行っているので、そちらを紹介している。



安政会 こんどうゆきお 近藤之雄議員

戦後70年平和祈念式典について

問 平成27年は戦後70年にあたり、市主催の平和式典を開催すると聞いているが、その内容は。 答 8月6日に市民会館サルビアホールで開催を予定している。第一部では「戦没者追悼式」を執り行い、第二部は、子どもたちによる演劇の上演と中学生による平和への誓いを行う「平和祈念祭」にした。併せて戦争体験の一部を紹介するパネル展を検討している。

市役所コンシェルジュについて

問 市役所内での案内の対応サービスを一層高度化するため、市役所コンシェルジュを検討してはどうか。 答 来庁者に分かりやすく快適な環境を提供できるよう窓口配置の見直し、サイン看板の設置など庁舎1階のフロア改善プランの作成に着手している。コンシェルジュのようにな総合案内のあり方も検討していく。



本庁舎1階



新政みどり
おおやあきひと
大屋明仁議員

一級河川鹿乗川改修事業

問 桜井町の大橋までの早期の拡幅工事を要望するが、進捗状況は。
答 木戸樋門から県道幸田石井線交差点上流付近までの1km区間について、護岸改修と橋梁改築などの整備が平成26年度に完了した。今後は、上流部の整備を行っている。26年度は小川町内会事務所東の下懸橋の改築に向け、車道と歩道の仮橋の整備を行っている。市としても早期整備を県や国に強く働きかけていきたい。

文化財保護事業

問 本證寺境内地の国史跡指定を機に計画している史跡公園の整備内容は。
答 本證寺の史跡公園は、国史跡指定の対象となった堀と土塁の部分的な復元と散策ができる小道や広場を整備し、芝生などを植えて憩いの場としていく。本證寺の周辺には歴史を紹介するガイダンス施設の整備も計画している。



本證寺

議員研修会を開催

※紙面の都合上、前号に掲載できなかった分を掲載します。

■西三河四市議会議員合同研修会

11月18日、豊田市民文化会館にて、岡崎・豊田・知立市と合同で研修会を開催しました。

●講師／幸田雅治氏(神奈川大学法学部教授)

●演題「大規模災害発生時に議会は」

■全議員研修会

12月18日、全国都道府県議会議長会・議会制度研究会アドバイザーの野村稔氏をお招きし、「地方議会の改革と活性化」と題した講演を聴講しました。



全員協議会・委員会の主な活動状況

*全員協議会

●2月26日 社会福祉協議会と都市農業振興協会(テンパーク)の平成27年度事業計画・収支予算について説明を受け、質疑しました。

さわやかマナーまちづくり条例PR活動

去る2月3日・5日、安城市さわやかマナーまちづくり条例をPRするため、市議会議員が街頭啓発活動を行いました。JR安城駅、名鉄新安城駅など主要4駅と市内スーパ―8カ所で行いました(表紙写真)。

この条例は、昨年12月定例会で議員提出され、可決成立し、4月1日から施行されています。

特別委員会の活動報告

閉会日に各特別委員長から報告がされました。特別委員会の設置からの活動と合わせて掲載します。

*議会基本条例策定特別委員会

議会基本条例を策定するに当たって先進事例などを調査研究した。約4年間で30回を超える委員会のほか、議会報告会と議員政治倫理条例に関するプロジェクトチームを開催して協議を重ねた。

昨年12月定例会で議会基本条例と議員政治倫理条例を委員会提出した。1月1日から施行。

*防災対策強化特別委員会

大規模地震を想定した防災・減

災対策強化について調査研究するため、東日本大震災の被災地、自主防災組織、危機管理センターなどの行政調査を行った。
本市では、常設型災害対策本部の設置、被災者支援システムの導入を平成27年度に計画している。これまでの調査研究を参考にし、南海トラフ巨大地震に備え、本市の防災・減災対策に生かすため、協議した。
*低炭素まちづくり特別委員会
低炭素化を通じた人や環境にやさしいまちづくりについて調査研究するため、行政調査などを実施。3月18日、次の提言を盛り込んだ調査報告書を議長に提出した。
①低炭素社会に向けた取り組み／「さ☆モビ」を安城モデルの新たな交通サービスとして事業化する。とともに、マルチモーダルな交通体系(*)の構築を目指す。
②水素エネルギー社会に向けた取り組み／設置用燃料電池と燃料電池自動車の普及促進策の推進
③自立・分散型エネルギー社会に向けた取り組み／地域でエネルギーの最適利用を図るエネルギーマネジメントの仕組みの導入検討。エネルギーの地産地消の支援策の推進
※複数の交通機関を連携させ、ニーズに対応した効率的で良好な交通環境が提供される交通体系。

*総務企画常任委員会
●3月17日 部会を開き、市税条例の改正、自治基本条例検証会議について説明を受け、質疑しました。

*市民文教常任委員会

●3月23日 合同部会を開き、図書館ICT化基本構想について説明を受け、質疑しました。

*市民文教常任委員会

*防災対策強化特別委員会
●3月23日 合同で会議を開き、安城市の東海・東南海・南海地震の被害予測について説明を受け、質疑しました。

*低炭素まちづくり特別委員会

●3月18日 平成26年度活動報告について協議しました。

*議会運営委員会

●2月24日・3月18日 第1回定例会の議事運営を協議しました。

議会改革検討委員会から議長に答申

議長から意見を求められた事項について、2月24日に答申しました。



石川委員長(右)から武田議長へ答申書を提出

諮問事項①議会のICT化の推進
●答申内容 議会におけるICTの活用については、議会運営の効率化、環境配慮、BCP(業務継続計画)、広報広聴機能の充実化、情報の共有化など、その活用範囲は広く効果は計りしれないものがあるとの認識にたち、今後は、安城市議会として早期にICT化の推進を図りたい。

諮問事項②議会の見える化
●答申内容 「議会の見える化」として市議会が取り組んできた市議会だよりの充実、市民にも分かりやすく、認知されつつあり一定の成果を得られたと評価できる。これまでの編集委員会活動の長所を生かしつつ、市民目線にたつた更なる改善を図り、安城市議会として議会基本条例の制定も踏まえ、さまざまな媒体や機会を通じてより一層、広報広聴機能の強化に努められたい。

政務活動費って何？

議会一口メモ

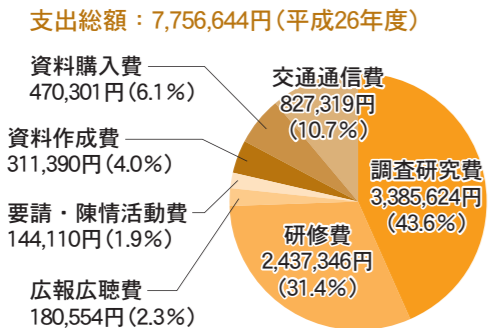
政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、会派に交付されます。政務活動費の額や、充てることができる経費の範囲などは条例で定めています(表①参照)。
収支の内容は、毎年度4月30日までに議長に報告し、残額がある場合は、市に返還することになっています。
平成26年度の支出内訳は、図①のとおりです。

■政務活動費を充てることができる経費の範囲(表①)

項目	内容
調査研究費	会派などが行う市の事務、地方行政などに関する調査研究および調査委託に関する経費
研修費	会派などが開催する研修会に要する経費および団体などが開催する研修会の参加に要する経費
広報広聴費	会派などが行う活動または市政についての住民への報告および住民からの要望または意見の聴取のために要する経費、住民相談などの活動に要する経費
要請・陳情活動費	会派などが行う要請または陳情活動に要する経費
会議費	会派などが開催する会議に要する経費および団体などが開催する意見交換会など各種会議の参加に要する経費
資料作成費	会派などが行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	会派などが行う活動に必要な図書、資料などの購入に要する経費
人件費	会派などが行う活動を補助する職員の雇用に要する経費
交通通信費	会派などが行う政務活動に必要な家用自動車などを使用する移動および通信に要する経費

・交付額：1議員当たり月額3万円
・領収書などの証拠書類の添付を義務付けています。

■政務活動費の支出内訳(図①)



会議録をご覧ください

本会議と委員会の会議録は、インターネットでもご覧いただけます。
「市議会のページ」の「会議録の閲覧・検索」から閲覧してください。



インターネット検索システムを
リニューアルしました

印刷の仕方など、詳しい操作方法の
説明をご覧ください。

発言者とキー
ワードから検索で
きます。

議員や答弁者か
ら検索できます。

年次・会議別に
閲覧できます。



5月臨時会の開催予定

5月11日(月) 午前10時から

6月定例会の開催予定

- 6月5日(金) 開会
- 8日(月) 一般質問
- 11日(木) 一般質問
- 12日(金) 一般質問予備日(※)
- 15日(月) 議案質疑
- 16日(火) 建設常任委員会
- 19日(金) 市民文教常任委員会
- 22日(月) 経済福祉常任委員会
- 23日(火) 総務企画常任委員会
- 26日(金) 閉会

- 開催時刻はいずれも午前10時の予定です。
- ※一般質問予備日に開催する場合は、市公式ウェブサイト「市議会のページ」の「会議予定」でお知らせします。
- 請願・陳情の提出締切りは、5月27日(木)です。

ケーブルテレビの録画放映

6月8日(月)・11日(木)・12日(金)の一般質問の様子が、キャッチネットワーク106チャンネルで録画放映されます。

- 【放映日】 8日収録分 → 17日(水)午後6時
- 11日収録分 → 22日(月)午後6時
- 12日収録分 → 26日(金)午後6時(※)

※26日は会議が
開催された場
合のみ放映。

市議会だより編集委員会 (4月1日現在)

- ◎近藤之雄 ○辻山秀文 <◎=委員長 ○=副委員長>
- 石川 翼 今原康徳 杉山 朗 松尾学樹
- 鈴木 浩 二村 守 深谷恵子

本号が私たち編集委員が担当する最後になります。安城市議会は、より一層、市民の皆さんに市議会に関心をもってもらえるよう、議会活動についてわかりやすく伝え、親しみやすい市議会だよりの発行に努めていきます。

【発行者】安城市議会 【編集者】市議会だより編集委員会 【問い合わせ】安城市議会事務局
〒446-8501 安城市桜町18-23 Tel.0566-71-2252 Fax.0566-77-8200 Eメール：giji@city.anjo.aichi.jp